

2017年9月27日

各位

**季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来 VLP ワクチンの
第 3 相臨床試験開始のお知らせ**

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：三津家正之、以下「田辺三菱製薬」）は、季節性インフルエンザの予防をめざした植物由来 VLP*ワクチンについて、子会社であるメディカゴ社（本社：カナダ ケベック市、代表取締役社長：ブルース クラーク（Bruce Clark））が、カナダ、米国、欧州およびアジアを含む 7 개국において、第 3 相臨床試験を開始しましたのでお知らせいたします。

メディカゴ社は植物由来のウイルス様粒子（VLP*）製造技術を用いた新規ワクチンの研究開発で先端を走るバイオ医薬品会社であり、植物の細胞内に VLP を生成させ、効率的に抽出・精製する独自技術を有しています。VLP はウイルスと同様の外部構造をもち、ワクチンとしての高い免疫獲得効果（有効性）が期待されます。

また、メディカゴの製造技術は遺伝子組換え技術を使用しているため、製造開始に必要なものは流行株の遺伝子情報のみであり、また一過性の遺伝子発現であるため、従来の鶏卵培養法と比べて大幅に短い期間でワクチンを製造することが望めます。

北米における 2020 年のインフルエンザシーズンに間に合う上市のタイミングをめざして、引き続き開発を進めてまいります。

田辺三菱製薬は、「重点疾患領域」に掲げるワクチン事業を通じ、感染症予防における一層の貢献をめざしてまいります。

*VLP=Virus Like Particle（ウイルス様粒子）

以上

田辺三菱製薬株式会社 広報部

（お問合せ先） 報道関係者の皆様 TEL：06-6205-5119
株式市場関係者の皆様 TEL：06-6205-5110